

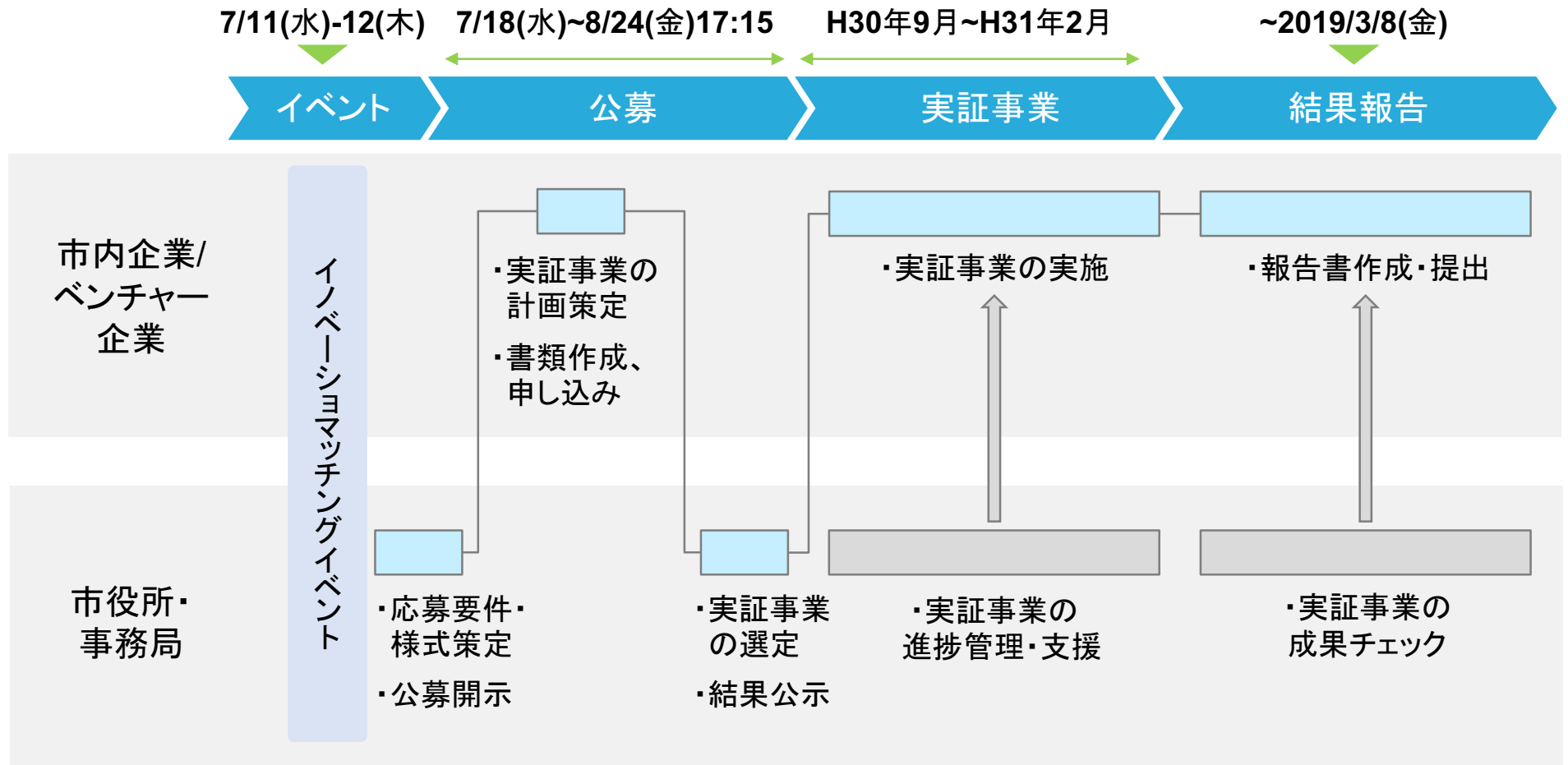


苫小牧イノベーションマッチング2018

～実証事業申請について～

実証事業の公募期間は7/18(水)~8/24(金)で、実施は9月から2月の約6か月間となっています

イノベーションマッチングイベント~実証事業の流れ



申請主体は苫小牧市内企業とし、ベンチャー企業(市外企業)は申請のサポートを行う形で各種資料をご準備下さい

申請関連情報

申請者	■ 苫小牧市内企業 申請内容については、市内企業とベンチャー企業が共同で検討すること
事業実施体制	■ 苫小牧市内企業 × ベンチャー企業 もしベンチャー企業が2社以上の場合、少なくとも1社はプレゼンテーション登壇企業とする
申請受付期間	■ 平成30年7月18日(水)～平成30年8月24日(金)午後5時15分まで(必着)
提出資料	■ 補助金の交付を受けようとする者は、以下の書類を提出すること。 ア 苫小牧市イノベーションマッチング実証事業補助金交付申請書(様式第1号)(正本1部、副本10部) イ 事業概要資料(様式第2号)(11部) ウ 申請法人及び連携する法人の概要を把握することができる資料(会社概要、事業報告書など)(1部) エ 納税証明書(市内に事業所等を有する者に限る。)(1部) オ 法人の登記事項証明書(1部) カ 申請書一式(申請書、事業概要スライド、添付書類)の電子データが格納された電子媒体(DVD-Rなど)(1部) キ 応募条件・同意書(様式第3号)(1部)
提出先	■ 苫小牧市総合政策部政策推進室政策推進課 (担当: 柘田) 〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 E-mail: seisaku@city.tomakomai.hokkaido.jp ※郵送又は電子メールにて提出すること。
相談連絡先	■ 事務局(デロイトトーマツ コンサルティング合同会社) (担当: 原元、黒石) E-mail: tomakomai_innovation@tohatsu.co.jp 電話番号: 03-6867-8916

参考：平成**29**年度における実証事業

H29年度に採択された実証事業は以下の6件です

採択実証実験一覧

#	申請事業者 (苫小牧市内企業等)	共同事業者 (ベンチャー企業)	事業名 (事業内容については次頁以降を参照)
1	株式会社 ホテルニュー王子	株式会社 MARS Company	新方式冷蔵庫導入に係る効果実証実験
2	株式会社OTis	株式会社シーエス レポーターズ	VR技術を使った地域振興事業及び地域プロモーション事業
3	株式会社松本鐵工所	株式会社シーエス レポーターズ	VRを用いた企業説明会資料の作成
4	社会医療法人こぶし植苗病院	MRT株式会社	遠隔診療を活用した苫小牧市の福祉・医療化の促進
5	苫小牧工業高等専門学校	株式会社インフォキューブ LAFLA	ヘルメット搭載(着脱)型IoT端末の開発
6	社会福祉法人緑陽会	株式会社イノフィス	とまこまい介護ロボット イノベーション！

株式会社ホテルニュー王子 × 株式会社MARS Company 新方式冷蔵庫導入に係る効果実証事業



プロジェクト概要

背景/課題

- 近年、ホテル及びケータリング飲食事業において使用される食材の品質や安全性について、消費者からはより高い水準(より美味しく・より安全な食材の使用)を求められている。
- より新鮮で付加価値の高い食材の提供が求められる一方で、ホテル側としては、よりコストを抑えるための仕入れ、保管能力が必要となっている。

事業内容/期待効果

- 本事業においては、MARS Company社の新技術冷蔵庫をレンタル導入して、鮮度保持の観点において、食材(肉類・魚介類・野菜など)の**長期保存に係るトライアルを実施**する。通常保存よりも数倍以上の長期保存が可能となれば、食材の廃棄ロスが減るため、食材の**調達コストを抑える**ことが可能となる。
- また、新技術冷蔵庫が有する熟成効果を活用して、地元産品(王子サーモン、豚肉等)を利用した**新商品・新メニューの開発(付加価値化)**に向けたトライアルを実施する。

地元生産者など



株式会社
ホテルニュー王子



株式会社
MARS Company

新技術冷蔵庫のレンタル導入
及び長期保存に係る知見提供

期待される効果

事業イメージ(全体像)

1 地元食材の長期鮮度保持の実証

- 食材(肉類・魚介類・野菜など)を冷凍保存並みに長期冷蔵保存できることで食材ロスの削減効果を測定する。
- 通常の冷蔵庫保存に比べて、どれくらい鮮度を保持しながら食材を保存することができるかを検証する。



2 熟成効果を利用した新たな商品開発

- 新冷蔵技術を活用した熟成方法によって、料理としての提供したときの質(おいしさ)の変化に対する効果測定(シェフや消費者によるアンケート・ヒアリング)を行うなど、付加価値化に向けた取り組みを行う。

- 長期保存による食材の廃棄ロスの抑制や戦略的な食材調達の実現(コスト最適化)
- 提供する食材・料理に対する付加価値化(長期保存・熟成等)

株式会社OTis × 株式会社シーエスレポーターズ VR技術を使った地域振興事業及び地域プロモーション事業

プロジェクト概要

背景/課題

- 苦小牧市はスポーツ都市宣言を行っているが、少子高齢化に伴い、各競技人口の減少が進み、競技レベル低下、運営費不足などの課題が浮上している。
- スポーツ業界の衰退に歯止めをかけるために、スポーツの魅力を市民に広めるとともに、従来の会費(月謝)、公費、協賛だけに頼らないビジネスモデルを構築することが必要である。

事業内容/期待効果

- VR(仮想現実)技術を活用して、**よりスポーツの魅力・面白さを市民に広める**プロモーションツールをトライアル開発する。
- 具体的には、今冬のアイスホッケー王子イーグルス戦に合わせて、白鳥王子アイスアリーナ内にVR特設ブースを設置し、選手のシュート等を選手目線でVR体験できるコンテンツを提供する。
- 本事業においては、当該コンテンツに対するアンケート(ニーズ調査)を行い、スポーツ団体における**新たな収益源(広告媒体として)となり得るかの検証**を行う。

実証事業

将来的な出口戦略

事業イメージ(全体像)

- VRコンテンツを通じて、スポーツの魅力・面白さをより強く・たのしく体験することで、スポーツに対する関心の底上げ、競技人材の確保、にぎわい創出につなげる



連携

(株)OTis



(株)シーエスレポーターズ

企画・コンテンツ開発・提供



白鳥王子アイスアリーナ

- 12/23-24 : アイスバックス戦
- 1/6-7 : クレイنز戦

VR特設ブース

VR体験コンテンツ



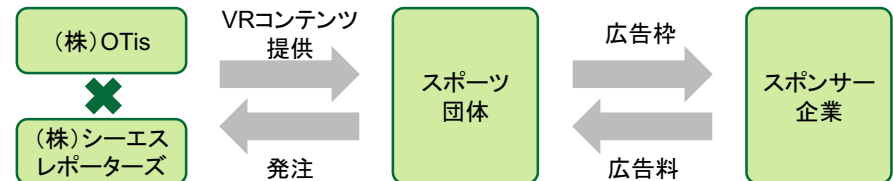
市民



- にぎわい
- スポーツへの関心
- 競技人材の獲得

ニーズ調査

- 今後は、VRコンテンツを広告媒体として活用し、各種スポンサー企業からの広告料を徴収するビジネスモデルとして発展させることを想定
- スポーツ団体における新たな収益源を確立することで、スポーツ振興につなげていく



株式会社松本鐵工所 × 株式会社シーエスレポーターズ VRを用いた企業説明会資料の作成

3

プロジェクト概要

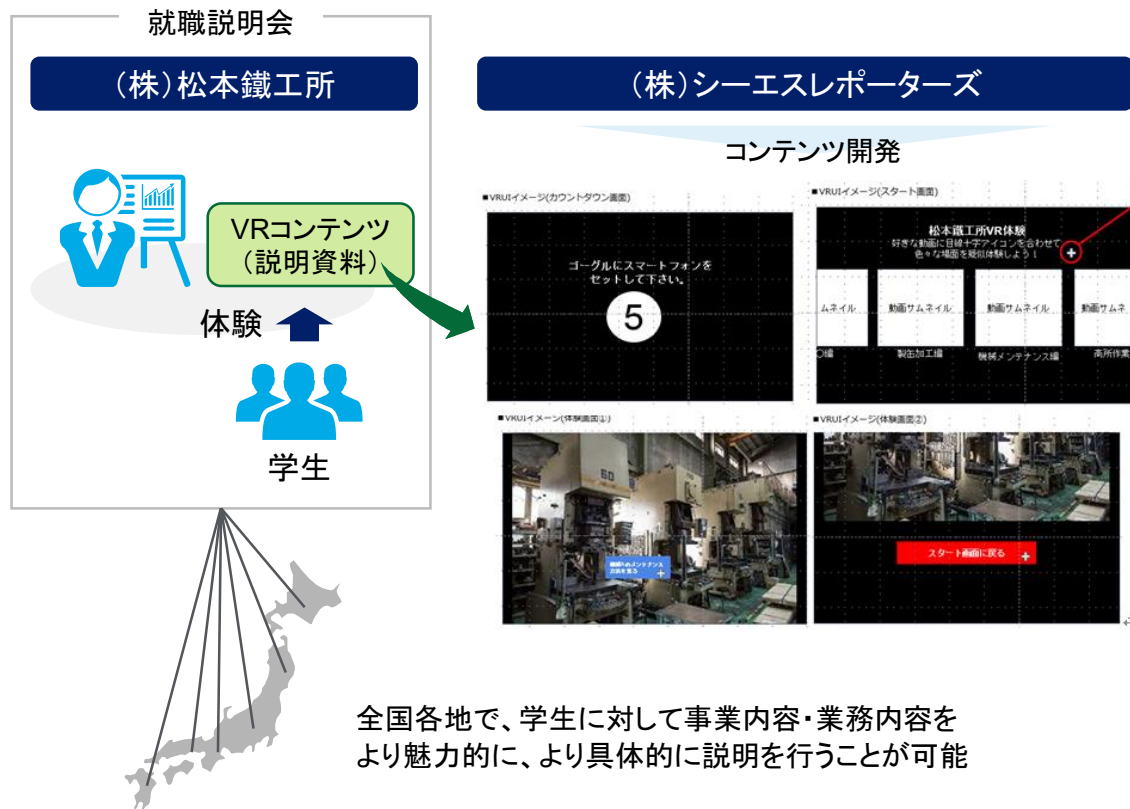
背景/課題

- 全国的に労働者の確保が難しくなっている中で、新入社員の採用が難しくなっている状況である。
- 就職説明会において、紙ベースでの資料だけでは学生に対して鐵工所の魅力、事業・作業内容をなかなか伝えきれないのが現状である。
- 結果として、学生側においては具体的な業務イメージ等を深めることが難しく、入社後のギャップによってミスマッチングに陥るケースもある。

事業内容/期待効果

- VR(仮想現実)技術を活用して、**より会社の魅力・業務イメージを学生に伝えることができる**企業説明会資料(ツール)をトライアル開発する。
- 具体的には、機械加工、製缶加工等の作業を、作業者の目線から疑似体験できるコンテンツ、また疑似的に工場見学できるVRコンテンツを開発する。
- 開発したVRコンテンツを活用して、実際の就職説明会等で学生に対して企業説明を行い、**紙資料での説明との比較、効果検証**(学生の理解度の違い等)を行う。

事業イメージ(全体像)



期待効果

- 業務内容や仕事内容に対する理解の深掘り
- 就職説明会等における集客力アップ及び採用活動の質の向上
- UI/ターンの採用向上

社会医療法人こぶし植苗病院 × MRT株式会社 遠隔診療を活用した苫小牧市の福祉・医療化の促進

プロジェクト概要

背景/課題

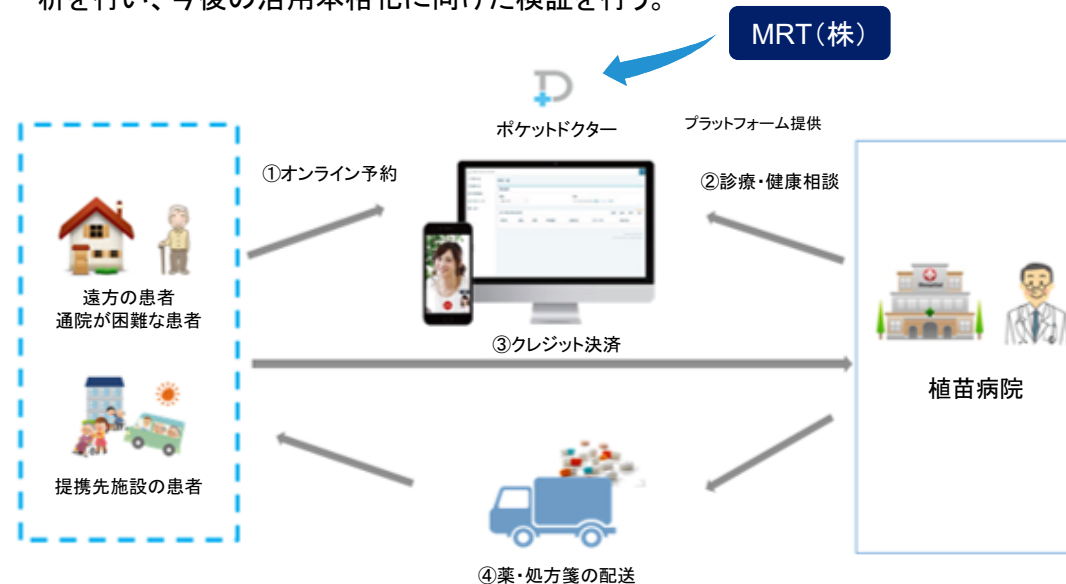
- 医療費の増大、医療従事者の不足、過疎地等における医療サービス不足、全国的な医師の偏在等が課題として顕在化している。
- 苫小牧市においても、市民の健康な暮らしを実現するためには、疾病の予防に必要な保健医療体制や救急医療等に必要地域医療体制を整備していくことが求められている。

事業内容/期待効果

- 植苗病院で診察等を受けている患者、特に「通院が困難な遠方の患者」及び「提携先施設に入居する患者」に対して、スマートフォン等を活用した遠隔診療のトライアル実施を行う。
- 遠隔診療という新たな通院手段を活用し、通院が困難な患者が、より医療サービスを楽しむや すくなるような環境を整備することで、苫小牧市における医療・福祉のサービス向上に寄与することを目指す

事業イメージ(全体像)

- 患者は、スマートフォン等の通信機器上で、診療予約を行い、Webカメラを活用した診療や健康相談をスマートフォン等の画面上で受けることが可能となる。
- 医師は、Webカメラを通じて診察や健康相談に係る助言を行い、必要に応じて処方箋・医薬品を患者に配送する。なお、診療費に関しては、クレジット決済で行う。また、遠隔診療を通じて収集されるデータに関しては、植苗病院及びMRTが連携の上で、収集・分析を行い、今後の活用本格化に向けた検証を行う。



植苗病院



MRT

- 患者に対する遠隔診療、健康相談の実施
- 遠隔診療を活用した医師からのフィードバック
- 地域住民の利便性を図ることによる集患、かかりつけ医化の推進
- 遠隔診療のプラットフォーム提供
- 遠隔診療を活用した患者及び医師からのアンケート収集・分析
- システムの安全性・有効性の検証及び今後の事業展開・システム開発への検討

苫小牧工業高等専門学校 × 株式会社インフォキューブLAFLA ヘルメット搭載(着脱)型IoT端末の開発



プロジェクト概要

背景/課題

- 苫小牧高専は、市内における起業家創出・育成や新産業の創出に対して貢献していくことを目指しているところである。
- 現場作業の効率化や作業員の安全管理のために、作業員の位置情報、行動データ、バイタルデータ、作業内容等の把握が求められており、現場での各種情報を作業員の負担なくリアルタイムに収集できるシステムが不可欠となっている。
- 現在、作業員のIoTデータ収集には、一般的に高額なスマートフォンが使われているが、取扱は常に細心の注意を払う必要があり、作業員側のストレス要因となっている。

事業内容/期待効果

- 苫小牧高専が有するセンサーや通信及び実装に関する技術と、インフォキューブLAFLAが有する位置連携行動ソリューション技術を融合し、**ヘルメット搭載(着脱)型IoT端末を開発**する。
- また、苫小牧地域での作業現場における実証試験(ヒアリング含む)を通じて、作業員及び企業側のニーズを整理することで、**ビジネス化に向けた検討**を行う。

苫小牧工業
高等専門学校

株式会社
インフォキューブ
LAFLA

開発



実証試験



期待
効果

- 市内企業等の**作業効率化・安全管理に資する製品を開発**するとともに、学生に対してはベンチャー創出・起業といった新しい選択肢に向けた気づきを与えることで、将来的な**高専発ベンチャー創出**や苫小牧市内における**ものづくり人材の育成に向けた課題・ニーズ等を整理**していくことを目指す。

事業イメージ(全体像)

- ヘルメットへの物理的な実装方法検討及び実装
- BLEアンテナ値の取得
- 9軸センター値の取得
- 電波RSSIデータ処理ソフトウェア、位置推計
- 画像、センサー情報の蓄積DB構築

ヘルメット搭載(着脱)型IoT端末

- 搭載センサー、カメラ
- カメラモジュールかUSBカメラ(前方、手元、右目)
- 加速度、ジャイロ、地磁気(9軸センサー)
- 3~4方向アンテナ
BLE(iビーコン規格、WiFi ⇒ 電波強度スキャン)

実証試験(ヒアリング等含む)

- 作業員及び企業側のニーズ整理
- 実用化に向けた課題整理

社会福祉法人緑陽会 × 株式会社イノフィス とまこまい介護ロボット イノベーション！

プロジェクト概要

背景/課題

- どの業界も人手不足となり、介護を目指す人材の減少は深刻化しているとともに、介護スタッフの作業環境改善が喫緊の課題となっている。
- 平成30年から経済産業省が「ロボット介護機器開発・標準化事業」としてロボット介護機器の国内市場規模を約500億円規模に拡大することを目指しており、市内福祉施設も導入の検討材料が必要になってくる。

事業内容/期待効果

- アシストスーツ(製品名:腰補助用マッスルスーツ)を活用したトライアルを実施し、**介護スタッフの作業負担軽減に係るモニタリング**を実施する。
- アシストスーツを使用した活用アイデアやヒヤリハットを現場の声として整理し、資料を作成する。
- 公開事業所として見学を受入、また作成した資料を配布して、先進介護機器の導入に係る検討材料を提供する。
- 将来的には、**介護現場における負荷軽減、環境改善、働き手の確保**をめざす

事業イメージ(全体像)

